

11 消防・防災施設

(1) 施設一覧

施設名	所在地	基本的な方針	
消防本部	水竹町下沖田 25	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防署東部出張所	三谷町東二丁目 222	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防署西部出張所	形原町中戸甫井 19-1	存続	移転・建替えを実施
西部防災センター	形原町御嶽 57-1	廃止	早期に建物解体を実施
消防団 1-1 器具庫	相楽町小畑ヶ 46-1	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 1-2 器具庫	大塚町大門 3-5	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 1-3 器具庫	大塚町西屋敷 74-2	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 2-1 器具庫	三谷町弥生二丁目 36	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 2-2 器具庫	三谷町港町通 42-2	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 2-3 器具庫	三谷町九舗 34-1	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 3-1 器具庫	松原町 551-1	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 3-2 器具庫	御幸町 3350	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 3-3 器具庫	神明町 95-2	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 4-1 器具庫	豊岡町殿門 17-7	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 4-2 器具庫	豊岡町下前田 9-2	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 4-3 器具庫	五井町堂前 2-3	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 5-1 器具庫	水竹町大坪 491	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 5-2 器具庫	清田町下大内 5-1	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 5-3 器具庫	坂本町向郷 59-74	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 6 器具庫	神ノ郷町老丁田 12-1	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 7-1 器具庫	拾石町本郷 22	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 7-2 器具庫	竹谷町神田 35-3	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 7-3 器具庫	柏原町稲荷 42-1	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 8-1 器具庫	形原町下市場 1-1	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 8-2 器具庫	金平町烏田 27-2	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 8-3 器具庫	形原町明後 1-2	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 9-1 器具庫	西浦町川東 17-1	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
消防団 9-2 器具庫	西浦町大知柄 48-1	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
三谷防災倉庫	三谷町東三丁目 106	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
形原防災倉庫	形原町佃 20-1	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
大塚水防倉庫	大塚町平原 125-6	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持

施設名	所在地	基本的な方針	
		存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
蒲郡水防倉庫	港町 848-5	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
清田水防倉庫	清田町上大内 2-14	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
塩津水防倉庫	竹谷町今御堂 54-9 ほか	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
西浦水防倉庫	西浦町川東 17-1	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
西浦水防倉庫資材庫	西浦町大知柄 48-1	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
大塚小大震火災対策 用器具格納庫	大塚町大門 107-2	存続	長期にわたって適切に維持
大塚西保育園大震火 災対策用器具格納庫	大塚町西屋敷 68-1	存続	長期にわたって適切に維持
三谷大震火災対策用 器具格納庫	三谷町弥生二丁目 36	存続	長期にわたって適切に維持
三谷中大震火災対策 用器具格納庫	三谷町原山 4	存続	長期にわたって適切に維持
三谷秋葉神社大震火 災対策用器具格納庫	三谷町六舗 12	存続	長期にわたって適切に維持
三谷小大震火災対策 用器具格納庫	三谷町七舗 187-1	存続	長期にわたって適切に維持
西田川大震火災対策 用器具格納庫	府相町二丁目 147-1	存続	長期にわたって適切に維持
竹島小大震火災対策 用器具格納庫	府相町三丁目 40	存続	長期にわたって適切に維持
栄町大震火災対策用 器具格納庫	栄町 764-1	存続	長期にわたって適切に維持
中ノ坊公園大震火災 対策用器具格納庫	中央本町 2201	存続	長期にわたって適切に維持
中央小大震火災対策 用器具格納庫	緑町 412	存続	長期にわたって適切に維持
大坪公園大震火災対 策用器具格納庫	旭町 316	存続	長期にわたって適切に維持
蒲郡中大震火災対策 用器具格納庫	新井町南 120	存続	長期にわたって適切に維持
東部小大震火災対策 用器具格納庫	豊岡町池田 1-1	存続	長期にわたって適切に維持
中部中大震火災対策 用器具格納庫	水竹町大坪 21-2	存続	長期にわたって適切に維持
北部小大震火災対策 用器具格納庫	清田町福羅田 34-3	存続	長期にわたって適切に維持
西部小大震火災対策 用器具格納庫	神ノ郷町壺町田 10	存続	長期にわたって適切に維持
塩津小大震火災対策 用器具格納庫	竹谷町今御堂 15-4	存続	長期にわたって適切に維持

施設名	所在地	基本的な方針	
前田公園大震火災対策用器具格納庫	拾石町前田 31	存続	長期にわたって適切に維持
形原小大震火災対策用器具格納庫	形原町会下 13-1	存続	長期にわたって適切に維持
形原4区大震火災対策用器具格納庫	形原町北上松 22	存続	長期にわたって適切に維持
形原中大震火災対策用器具格納庫	形原町佃 14-2	存続	長期にわたって適切に維持
形原北小大震火災対策用器具格納庫	金平町三本木 1-1	存続	長期にわたって適切に維持
西浦小大震火災対策用器具格納庫	西浦町宮新田 30	存続	長期にわたって適切に維持

(2) 基本的な方針の考え方

- ・消防本部は、市民の生命・身体・財産を守る消防活動の拠点となる施設であり、計画的に修繕を行い長期にわたって維持します。
- ・消防署東部出張所は、計画的に修繕を行い長期にわたって維持します。
- ・消防署西部出張所は、建築後 50 年以上が経過し建物の老朽化が進んでいるため、移転・建替えを行います。
- ・西部防災センターは、市内西部地区の避難所備蓄品の保管場所として使用していますが、老朽化が進み、耐震基準を満たしていないことから早期に取り壊しを行います。
- ・防災倉庫や消防団器具庫、大震火災対策用器具格納庫については防災用資機材等の収容場所や各地区の消防団の活動拠点として使用されており、今後も適切に管理を行い長期にわたって維持します。

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防本部	所在地	水竹町下沖田25番地
施設コード	164	施設面積	5,061.36㎡
土地所有状況	市有地：5,655.85㎡	建設年	平成22年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・4階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	1.0	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
緊急車両等の必要な資器材を配備し、市民の生命・身体・財産を守る消防・救急の拠点である。築後10年となり経年劣化もみられるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
消防・救急の拠点として、今後も機能を維持し続ける必要がある。災害対応業務だけでなく、庶務業務、消防団担当業務、予防業務といった本部事務業務も担っているため、建替え時も機能維持を前提とした施設規模とする必要がある。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
築後10年を経過しており、空調設備や給湯設備等に経年劣化による不具合が発生する可能性があることから、施設の機能維持のために修繕を計画的に実施する必要がある。	
【中・長期的課題】	
建替えに向け、少子高齢化や消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。	

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

これまで適切に維持修繕をしてきているため、今後も保守を適切に行い長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度	指令システムリース	32,889	
令和4年度	指令システムリース	32,889	
令和5年度			
令和6年度	指令システムリース	156,132	指令システム全部更新
令和7年度	修繕、指令システムリース	160,271	本庁舎エレベーター
令和8年度	指令システムリース	156,132	
令和9年度	指令システムリース	156,132	
令和10年度	指令システムリース	156,132	
令和11年度		164,621	
令和12年度	改修、修繕、指令システムリース	32,889	屋根、外壁等、指令システム部分更新
令和13年度	指令システムリース	32,889	
令和14年度	指令システムリース	32,889	
令和15年度	指令システムリース	32,889	
令和16年度	指令システムリース	32,889	
令和17年度	修繕	11,062	本庁舎外壁
令和18年度	指令システムリース	156,132	指令システム全部更新
令和19年度	指令システムリース	156,132	
令和20年度	指令システムリース	156,132	
令和21年度	指令システムリース	156,132	
令和22年度	改修、修繕、指令システムリース	156,132	屋根、外壁等
令和23年度			
令和24年度	指令システムリース	103,976	指令システム全部更新
令和25年度	指令システムリース	32,889	
令和26年度	指令システムリース	32,889	
令和27年度	指令システムリース	32,889	
令和28年度	指令システムリース	32,889	
合計		2,206,897	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	3,500	3,508	3,677	
運用コスト	7,885	8,228	7,950	
修繕コスト	614	1,947	366	
その他				
合計	11,999	13,683	11,993	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防署東部出張所	所在地	三谷町東二丁目222
施設コード	162	施設面積	439.47㎡
土地所有状況	市有地：1,115.12㎡	建設年	昭和44年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階	耐震化状況	耐震補強済
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	2.7	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
緊急車両等を配備し、市民の生命・身体・財産を守る拠点となる施設である。令和元年度に躯体の耐震補強を実施したが、築後50年を経過しており、屋根、外壁などの老朽化は進んでいる。今後も計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していくが、並行して建替え等に関する検討を行う。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
市内東部の消防・救急の拠点として、今後も機能を維持し続ける必要がある。令和4年度以降に機能維持を前提とし、今後の施設規模や建替え時の移転の有無などについて検討を行うため、検討委員会の設置を行う。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
躯体は耐震補強を実施しているが、屋根、外壁、内装の老朽化は進んでいる。建築後50年を経過しており、適切な管理を継続する。	
【中・長期的課題】	
建替えに向け、少子高齢化や消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。	

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

現在の建物は、耐震改修を行い、かつこれまで適切に維持修繕をしてきているため、今後も保守を適切に行い長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度	改修	34,880	屋根、外壁等
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度	修繕	3,616	屋根、外壁等
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度	修繕	1,196	電灯
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		39,692	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	1,285	1,269	1,356	
修繕コスト	63	239	25,299	
その他				
合計	1,348	1,508	26,655	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防署西部出張所	所在地	形原町中戸甫井19-1
施設コード	163	施設面積	304.6㎡
土地所有状況	市有地：614.12㎡ 借地：237.73㎡	建設年	昭和41年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	3.3	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>市内西部地域の消防・救急の拠点となる施設であり、緊急車両等の資機材を配備している。</p> <p>築後50年が経過しており、各部に劣化がみられる。西浦町堂前地内への移転が決定しており、令和6年度の運用開始を目指し、建替えにむけた検討を行っていく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>政策調整会議 令和元年12月 移転建替えの方向性決定 令和2年 8月 候補地決定</p>	
目標使用年数	58年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>建築後55年程となり、各部に劣化が見られる。建替えまで適切な管理を継続する。また、建替えの際に西部防災センターの資機材を受け入れる可能性があるが、具体的な話は進んでいない。</p>
【中・長期的課題】
<p>消防広域化等の消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を58年とし、建替えまで適切に保守を行い、利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度	西部出張所建替え	436,679	
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度	修繕	1,991	屋根、建具
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度	修繕	7,937	空調
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度	改修、修繕	31,728	屋根、外壁等
令和27年度			
令和28年度			
合 計		478,335	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	2,034	2,099	2,116	
修繕コスト	466	314		
その他				
合計	2,500	2,413	2,116	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

作成日 令和3年3月31日

所管課名	危機管理課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	西部防災センター	所在地	形原町御嶽57-1
施設コード	9	施設面積	1,041.13㎡
土地所有状況	市有地：814.96㎡	建設年	昭和47年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	3.8	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	廃止
【基本方針の説明】	
<p>蒲郡市西部地区の避難所備蓄品の保管場所として利用している。 その他、土木港湾課の資材置き場、消防署の訓練場として使用。 築40年以上経過していることから、老朽化が進んでいるとともに、耐震基準を満たしていないことから廃止する。 令和3年度に解体に着手、更地にする。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>H30年7月12日に形原公民館にて地区総代等に、西部防災センターを解体し、収容物は倉庫へ移す旨を説明し、了承をもらう。 R元年6月13日に形原公民館にて地区総代等に、西部防災センター及び倉庫を解体し、収容物は新設の防災倉庫へ移す旨を説明し、了承をもらう。</p>	
目標使用年数	50年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
<p>日中に人が出入りするようなことはなく、建物倒壊による人的被害の可能性は少ないが、名鉄蒲郡線の沿線に立地しており、大規模地震発生時には交通への影響が懸念されるため、早期廃止が求められる。</p>	
【中・長期的課題】	
<p>廃止の為課題無し（令和3年度建物解体）</p>	

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

現在の建物は現行の耐震基準を満たしていない為、早期に取り壊しを行う。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度	解体	41,360	令和3年度末に更地に戻す
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		41,360	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	113	129	125	
修繕コスト				
その他		33		
合計	113	162	125	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団1-1器具庫	所在地	相楽町小畑ヶ46-1
施設コード	135	施設面積	60.48㎡
土地所有状況	借地：99.6㎡	建設年	平成3年
構造・階数	鉄骨造・2階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	2.3	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後30年程となり、内外装に一部劣化が見られる。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
<p>建築後30年程となり、内外装に一部劣化が見られるため、適切な管理を継続する。</p>	
【中・長期的課題】	
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>	

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度	改修、修繕	7,950	屋根、外壁等
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		7,950	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	15	17	16	
修繕コスト				
その他				
合計	15	17	16	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団1-2器具庫	所在地	大塚町大門3-5
施設コード	136	施設面積	85㎡
土地所有状況	市有地：74.77㎡	建設年	平成24年
構造・階数	鉄骨造・2階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	1.2	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後5年程で、あまり劣化は見られない。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>建築後5年程で、あまり劣化は見られないが、適切な管理を継続する。</p>
【中・長期的課題】
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度	改修、修繕	2,250	屋根、外壁等
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度	改修	1,594	空調、給排水
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		3,844	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	85	92	102	
修繕コスト				
その他				
合計	85	92	102	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団1-3器具庫	所在地	大塚町西屋敷74-2
施設コード	137	施設面積	60.34㎡
土地所有状況	借地：94.62㎡	建設年	平成元年
構造・階数	鉄骨造・2階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	2.8	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後30年程となり、内外装に一部劣化が見られる。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
<p>建築後30年程となり、内外装に一部劣化が見られるため、適切な管理を継続する。</p>	
【中・長期的課題】	
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>	

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度	トイレ改修工事	900	下水接続
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度	改修、修繕	7,771	屋根、外壁等
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		8,671	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	27	27	27	
修繕コスト				
その他				
合計	27	27	27	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団2-1器具庫	所在地	三谷町弥生二丁目36
施設コード	138	施設面積	27.54㎡
土地所有状況	市有地 (弥生公園敷地内に立地)	建設年	昭和59年
構造・階数	鉄骨造・1階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後35年程となり、内外装に一部劣化が見られる。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>建築後35年程となり、内外装に一部劣化が見られるため、適切な管理を継続する。</p>
【中・長期的課題】
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度	改修、修繕	3,075	屋根、外壁等
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度	修繕	648	屋根、外壁等
令和27年度			
令和28年度			
合 計		3,723	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	12	11	11	
修繕コスト				
その他				
合計	12	11	11	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団2-2器具庫	所在地	三谷町港町通42-2
施設コード	139	施設面積	57.2㎡
土地所有状況	市有地：60.39㎡	建設年	平成2年
構造・階数	鉄骨造・2階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	3.0	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後30年程となり、内外装に一部劣化が見られる。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>建築後30年程となり、内外装に一部劣化が見られるため、適切な管理を継続する。</p>
【中・長期的課題】
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度	改修、修繕	6,533	屋根、外壁等
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		6,533	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	30	31	31	
修繕コスト				
その他				
合計	30	31	31	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団2-3器具庫	所在地	三谷町九舗34-1
施設コード	140	施設面積	22.68㎡
土地所有状況	市有地：87.00㎡	建設年	昭和58年
構造・階数	鉄骨造・1階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後40年程となり、内外装に一部劣化が見られる。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>建築後40年程となり、内外装に一部劣化が見られるため、適切な管理を継続する。</p>
【中・長期的課題】
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度	改修、修繕	2,836	屋根、外壁等
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度	修繕	598	屋根、外壁等
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		3,434	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	7	6	6	
修繕コスト				
その他				
合計	7	6	6	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団3-1 器具庫	所在地	松原町551-1
施設コード	142	施設面積	79.68㎡
土地所有状況	市有地：400.28㎡	建設年	平成13年
構造・階数	鉄骨造・2階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	2.1	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後20年程となり、内外装に一部劣化が見られる消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
<p>建築後20年程となり、内外装に一部劣化が見られるため、適切な管理を継続する。</p>	
【中・長期的課題】	
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>	

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度	改修	9,706	屋根、外壁等
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		9,706	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	45	48	47	
修繕コスト				
その他				
合計	45	48	47	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団3-2器具庫	所在地	御幸町3350
施設コード	144	施設面積	91.84㎡
土地所有状況	市有地：143.13㎡	建設年	平成22年
構造・階数	鉄骨造・2階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	1.0	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後10年程となり、ほぼ劣化は見られない。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>建築後10年程となり、ほぼ劣化は見られない。適切な管理を継続する。</p>
【中・長期的課題】
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度	修繕	2,390	屋根、外壁等
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度	改修	1,240	空調、衛生設備
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		3,630	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	66	77	78	
修繕コスト				
その他				
合計	66	77	78	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団3-3器具庫	所在地	神明町95-2
施設コード	145	施設面積	79.68㎡
土地所有状況	市有地：157.29㎡	建設年	平成7年
構造・階数	鉄骨造・2階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	1.8	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後25年程となり、内外装に一部劣化が見られる。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>建築後25年程となり、内外装に一部劣化が見られるため、適切な管理を継続する。</p>
【中・長期的課題】
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度	改修、修繕	1,253	空調、衛生設備等
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度	改修、修繕	9,632	屋根、外壁等
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		10,885	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	50	58	55	
修繕コスト				
その他				
合計	50	58	55	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団4-1器具庫	所在地	豊岡町殿門17-7
施設コード	147	施設面積	60.48㎡
土地所有状況	市有地：108㎡	建設年	平成6年
構造・階数	鉄骨造・2階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	2.3	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後25年程となり、内外装に一部劣化が見られる。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難。施設は消防団員が待機、車両・資機材整備をするため縮減はしないものとする。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
<p>建築後25年程となり、内外装に一部劣化が見られるため、適切な管理を継続する。</p>	
【中・長期的課題】	
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>	

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度	改修	7,704	屋根、外壁等
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		7,704	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	58	55	54	
修繕コスト				
その他				
合計	58	55	54	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団4-2 器具庫	所在地	豊岡町下前田9-2
施設コード	148	施設面積	60.48㎡
土地所有状況	市有地：143.5㎡	建設年	平成2年
構造・階数	鉄骨造・2階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	2.6	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後30年程となり、内外装に一部劣化が見られる。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>建築後30年程となり、内外装に一部劣化が見られるため、適切な管理を継続する。</p>
【中・長期的課題】
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度	トイレ改修工事	891	下水接続
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度	改修	7,930	屋根、外壁等
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		8,821	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	36	34	36	
修繕コスト				
その他				
合計	36	34	36	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団4-3器具庫	所在地	五井町堂前2-3
施設コード	149	施設面積	32.94㎡
土地所有状況	市有地：204㎡	建設年	昭和61年
構造・階数	鉄骨造・1階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後30年程で、内外装に一部劣化が見られる。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期的にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
<p>建築後30年程で、内外装に一部劣化が見られるため、適切な管理を継続する。</p>	
【中・長期的課題】	
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>	

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度	縮小移転	12,600	
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度	改修、修繕	1,192	屋根、外壁等
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		13,792	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	33	35	38	
修繕コスト				
その他				
合計	33	35	38	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団5-1器具庫	所在地	水竹町大坪491
施設コード	150	施設面積	45.36㎡
土地所有状況	借地：120㎡	建設年	昭和60年
構造・階数	鉄骨造・1階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後35年程となり、内外装に一部劣化が見られる。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>建築後35年程となり、内外装に一部劣化が見られるため、適切な管理を継続する。</p>
【中・長期的課題】
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度	改修、修繕	6,926	屋根、外壁等
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度	修繕	1,572	屋根、外壁等
令和28年度			
合 計		8,498	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	20	20	20	
修繕コスト				
その他				
合計	20	20	20	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団5-2器具庫	所在地	清田町下大内5-1
施設コード	151	施設面積	45.36㎡
土地所有状況	市有地：187.82㎡	建設年	昭和58年
構造・階数	鉄骨造・1階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後40年程となり、内外装に一部劣化が見られる。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
<p>建築後40年程となり、内外装に一部劣化が見られるため、適切な管理を継続する。</p>	
【中・長期的課題】	
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>	

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度	改修、修繕	6,847	屋根、外壁等
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度	修繕	1,678	屋根、外壁等
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		8,525	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	30	32	32	
修繕コスト				
その他				
合計	30	32	32	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団5-3器具庫	所在地	坂本町向郷59-74
施設コード	152	施設面積	35.48㎡
土地所有状況	市有地：217.16㎡	建設年	昭和53年
構造・階数	鉄骨造・1階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後40年程となり、内外装に一部劣化が見られる。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
<p>建築後40年程となり、内外装に一部劣化が見られるため、適切な管理を継続する。</p>	
【中・長期的課題】	
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>	

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度	改修、修繕	1,418	屋根、外壁等
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		1,418	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	16	18	18	
修繕コスト				
その他				
合計	16	18	18	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団6器具庫	所在地	神ノ郷町壺丁田12-1
施設コード	153	施設面積	32.4㎡
土地所有状況	借地：85㎡	建設年	昭和56年
構造・階数	鉄骨造・1階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後40年程となり、内外装に一部劣化が見られる。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>建築後40年程となり、内外装に一部劣化が見られる。適切な管理を継続する。</p>
【中・長期的課題】
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度	修繕	986	屋根、外壁等
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		986	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	30	27	24	
修繕コスト				
その他				
合計	30	27	24	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団7-1器具庫	所在地	拾石町本郷22
施設コード	154	施設面積	61.98㎡
土地所有状況	市有地：72.97㎡	建設年	平成8年
構造・階数	鉄骨造・2階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	1.8	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後20年程となり、内外装に一部劣化が見られる。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>建築後20年程となり、内外装に一部劣化が見られるため、適切な管理を継続する。</p>
【中・長期的課題】
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度	改修、修繕	8,139	屋根、外壁等
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		8,139	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	38	44	46	
修繕コスト				
その他				
合計	38	44	46	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団7-2器具庫	所在地	竹谷町神田35-3
施設コード	155	施設面積	19.8㎡
土地所有状況	借地：39.16㎡	建設年	昭和43年
構造・階数	木造・1階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後50年程となり、内外装に一部劣化が見られる。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
<p>建築後50年程となり、内外装に一部劣化が見られる。適切な管理を継続する。</p>	
【中・長期的課題】	
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>	

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度	修繕	651	屋根、外壁等
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		651	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	12	11	10	
修繕コスト				
その他				
合計	12	11	10	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団7-3器具庫	所在地	柏原町稻荷42-1
施設コード	156	施設面積	24.3㎡
土地所有状況	借地：54㎡	建設年	昭和45年
構造・階数	木造・1階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後50年程となり、内外装に一部劣化が見られる。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>建築後50年程となり、内外装に一部劣化が見られる。適切な管理を継続する。</p>
【中・長期的課題】
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度	修繕	744	屋根、外壁等
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		744	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	5	4	3	
修繕コスト				
その他				
合計	5	4	3	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団8-1器具庫	所在地	形原町下市場1-1
施設コード	157	施設面積	22.37㎡
土地所有状況	市有地：79.23㎡	建設年	昭和53年
構造・階数	鉄骨造・1階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後40年程となり、内外装に一部劣化が見られる。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
<p>建築後40年程となり、内外装に一部劣化が見られる。適切な管理を継続する。</p>	
【中・長期的課題】	
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>	

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度	改修、修繕	771	屋根、外壁等
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		771	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	5	5	5	
修繕コスト				
その他				
合計	5	5	5	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団8-2器具庫	所在地	金平町烏田27-2
施設コード	158	施設面積	19.8㎡
土地所有状況	市有地：78.77㎡	建設年	昭和48年
構造・階数	木造・1階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後45年程となり、内外装に一部劣化が見られる。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
<p>建築後45年程となり、内外装に一部劣化が見られる。適切な管理を継続する。</p>	
【中・長期的課題】	
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>	

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度	改修、修繕	577	屋根、外壁等
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		577	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	4	3	3	
修繕コスト				
その他				
合計	4	3	3	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団8-3器具庫	所在地	形原町明後1-2
施設コード	159	施設面積	58.22㎡
土地所有状況	市有地：165.28㎡	建設年	昭和63年
構造・階数	鉄骨造・1階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後30年程となり、内外装に一部劣化が見られる。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>建築後30年程となり、内外装に一部劣化が見られるため、適切な管理を継続する。</p>
【中・長期的課題】
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度	トイレ改修工事	857	下水接続
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度	改修	4,152	屋根、外壁等
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		5,009	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	56	53	51	
修繕コスト				
その他				
合計	56	53	51	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団9-1器具庫	所在地	西浦町川東17-1
施設コード	160	施設面積	136㎡
土地所有状況	市有地：408.75㎡	建設年	平成25年
構造・階数	鉄骨造・2階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	1.0	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後5年程で、劣化はほぼ見られない。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>建築後5年程で、劣化はほぼ見られないが、適切な管理を継続する。</p>
【中・長期的課題】
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度	改修、修繕	3,797	屋根、外壁等
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度	改修、修繕	1,265	空調、換気等
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		5,062	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	105	97	95	
修繕コスト				
その他				
合計	105	97	95	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	消防団9-2器具庫	所在地	西浦町大知柄48-1
施設コード	161	施設面積	19.8㎡
土地所有状況	市有地：87㎡	建設年	昭和49年
構造・階数	木造・1階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>建築後45年程となり、内外装に一部劣化が見られる。消防団車両1台を配備しており、地元住民の生命・財産を守る、安全安心のための拠点であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難である。消防団員の待機や車両・資機材の整備のため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>建築後45年程となり、内外装に一部劣化が見られる。適切な管理を継続する。</p>
【中・長期的課題】
<p>消防団再編、消防広域化も含めた消防情勢に対する情報収集を継続する必要がある。</p>

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度	改修、修繕	577	屋根、外壁等
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		577	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	5	3	3	
修繕コスト				
その他				
合計	5	3	3	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	三谷防災倉庫	所在地	三谷町東三丁目106
施設コード	172	施設面積	110.02㎡
土地所有状況	市有地：180.32㎡	建設年	昭和56年
構造・階数	鉄骨造・2階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	2.7	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>防災資機材を配備している三谷地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後40年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、計画的に修繕を行うことで今後も長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>建築後40年程で、内外装に一部劣化が見られるため、適切な管理を継続する。</p>
【中・長期的課題】
<p>配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。</p>

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度	改修	507	電灯LED化
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度	改修、修繕	2,513	屋根、外壁等
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		3,020	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	9	6	6	
修繕コスト				
その他				
合計	9	6	6	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	形原防災倉庫	所在地	形原町佃20-1
施設コード	165	施設面積	171.82㎡
土地所有状況	市有地：16.52㎡	建設年	昭和58年
構造・階数	鉄骨造・2階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	2.6	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>防災資機材を配備している形原地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後35年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、計画的に修繕を行うことで今後も長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であるため、廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>建築後35年程で、内外装に一部劣化が見られるため、適切な管理を継続する。</p>
【中・長期的課題】
<p>配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。</p>

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度	改修	780	電灯LED化
令和5年度	改修、修繕	17,976	屋根、外壁等
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度	改修、修繕	5,968	屋根、外壁等
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		24,724	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	大塚水防倉庫	所在地	大塚町平原125-6
施設コード	176	施設面積	39.96㎡
土地所有状況	市有地：60㎡	建設年	昭和51年
構造・階数	鉄骨造・1階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
水防資機材を配備している大塚地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後40年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、計画的に修繕を行うことで今後も長期にわたって維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であるため、廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
建築後40年程で、内外装に一部劣化が見られるため、適切な管理を継続する。	
【中・長期的課題】	
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。	

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度	修繕	718	屋根、外壁等
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		718	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	3	3	3	
修繕コスト				
その他				
合計	3	3	3	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	蒲郡水防倉庫	所在地	港町848-5
施設コード	146	施設面積	86.12㎡
土地所有状況	市有地：317.27㎡	建設年	平成5年
構造・階数	鉄骨造・1階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	2.7	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
水防資機材を配備しており、蒲郡地区の防災拠点として廃止することは困難な施設である。建築後25年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、計画的に修繕を行うことで今後も長期にわたって維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であるため、廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
建築後25年程となり、内外装に一部劣化が見られる。適切な管理を継続する。	
【中・長期的課題】	
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。	

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度	改修	9,653	屋根、外壁等
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		9,653	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	19	20	20	
修繕コスト				
その他				
合計	19	20	20	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	清田水防倉庫	所在地	清田町上大内2-14
施設コード	169	施設面積	38.88㎡
土地所有状況	市有地：100㎡	建設年	昭和53年
構造・階数	鉄骨造・1階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
水防資機材を配備している北部地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後40年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、計画的に修繕を行うことで今後も長期にわたって維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であるため、廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後40年程で、内外装に一部劣化が見られるため、適切な管理を継続する。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度	修繕	873	屋根、外壁等
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		873	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	3	3	3	
修繕コスト				
その他				
合計	3	3	3	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	塩津水防倉庫	所在地	竹谷町今御堂54-9・55-3・55-2
施設コード	167	施設面積	32.94㎡
土地所有状況	市有地：60.65㎡	建設年	昭和56年
構造・階数	鉄骨造・1階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
水防資機材を配備している塩津地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後40年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、計画的に修繕を行うことで今後も長期にわたって維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であるため、廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
建築後40年程で、内外装に一部劣化が見られるため、適切な管理を継続する。	
【中・長期的課題】	
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。	

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度	修繕	810	屋根、外壁等
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		810	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	3	3	3	
修繕コスト				
その他				
合計	3	3	3	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	西浦水防倉庫	所在地	西浦町川東17-1
施設コード	170	施設面積	42.32㎡
土地所有状況	市有地：408.75㎡	建設年	平成25年
構造・階数	鉄骨造・1階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
水防資機材を配備している西浦地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後5年程であり劣化はみられないが、計画的に修繕を行うことで今後も長期にわたって維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であるため、廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
建築後5年程で、あまり劣化は見られない。適切な管理を継続する。	
【中・長期的課題】	
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。	

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度	修繕	1,155	屋根、外壁等
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		1,155	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	西浦水防倉庫資材庫	所在地	西浦町大地柄48-1
施設コード	166	施設面積	9.4㎡
土地所有状況	市有地 (消防団9-2器具庫敷地内)	建設年	平成8年
構造・階数	鉄骨造・1階	耐震化状況	耐震未施工
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
水防資機材を配備している西浦地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後20年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、計画的に修繕を行うことで今後も長期にわたって維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であるため、廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後20年程で、内外装に一部劣化が見られるため、適切な管理を継続する。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

使用目標を80年とし、今後も適切に保守を行い、長期で利用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度	改修、修繕	2,218	屋根、外壁等
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		2,218	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	大塚小大震火災対策用器具格納庫	所在地	大塚町大門107-2
施設コード	191	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	市有地 (大塚小学校敷地内に立地)	建設年	昭和57年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している大塚地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後35年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後35年以上のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	大塚西保育園大震災対策用器具格納庫	所在地	大塚町西屋敷68-1
施設コード	191	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	借地 (大塚西保育園敷地内に立地)	建設年	昭和62年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している大塚地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後30年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後30年以上のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	三谷大震火災対策用器具格納庫	所在地	三谷町弥生2丁目36
施設コード	175	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	市有地 (弥生公園敷地内に立地)	建設年	昭和57年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している三谷地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後35年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後35年以上のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	三谷中大震火災対策用器具格納庫	所在地	三谷町原山4
施設コード	189	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	市有地 (三谷中学校敷地内に立地)	建設年	平成3年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している三谷地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後25年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後25年以上のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	三谷秋葉神社大震火災対策用器具格納庫	所在地	三谷町六舗12
施設コード	195	施設面積	6.02㎡
土地所有状況	借地	建設年	平成9年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>防災資機材を配備している三谷地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後20年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>建築後20年以上のため、適切に管理を続けていく。</p>
【中・長期的課題】
<p>配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。</p>

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	三谷小大震火災対策用器具格納庫	所在地	三谷町七舗187-1
施設コード	183	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	市有地 (三谷小学校敷地内に立地)	建設年	昭和61年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している三谷地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後30年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後30年以上のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	西田川大震火災対策用器具格納庫	所在地	府相町二丁目147-1
施設コード	188	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	市有地：116.96㎡	建設年	平成3年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している蒲郡町部の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後30年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後30年程度のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	竹島小大震火災対策用器具格納庫	所在地	府相町3丁目40
施設コード	191	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	市有地 (竹島小学校敷地内に立地)	建設年	昭和59年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している蒲郡町部の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後35年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後35年以上のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	栄町大震火災対策用器具格納庫	所在地	栄町764-1
施設コード	194	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	市有地：123.77㎡	建設年	平成8年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している蒲郡町部の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後25年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後25年を超えているため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	中ノ坊公園大震火災対策用器具格納庫	所在地	中央本町2201
施設コード	191	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	市有地 (中ノ坊公園敷地内に立地)	建設年	平成7年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している蒲郡町部の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後20年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後20年以上のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	中央小大震火災対策用器具格納庫	所在地	緑町412
施設コード	191	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	市有地 (中央小学校敷地内に立地)	建設年	平成2年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している蒲郡町部の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後30年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後30年以上のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	大坪公園大震火災対策用器具格納庫	所在地	旭町316
施設コード	191	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	市有地 (大坪公園敷地内に立地)	建設年	平成8年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している蒲郡町部の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後20年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後20年以上のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	蒲郡中大震火災対策用器具格納庫	所在地	新井町南120
施設コード	186	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	市有地 (蒲郡中学校敷地内に立地)	建設年	昭和63年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している蒲郡町部の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後30年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後30年以上のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	東部小大震火災対策用器具格納庫	所在地	豊岡町池田1-1
施設コード	191	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	市有地 (蒲郡東部小学校敷地内に立地)	建設年	昭和58年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している東部地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後35年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後35年以上のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	中部中大震火災対策用器具格納庫	所在地	水竹町大坪21-2
施設コード	191	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	市有地 (中部中学校敷地内に立地)	建設年	平成4年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している北部地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後30年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後30年以上のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	北部小大震火災対策用器具格納庫	所在地	清田町福羅田34-3
施設コード	191	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	市有地 (蒲郡北部小学校敷地内に立地)	建設年	昭和59年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している北部地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後35年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後35年以上のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	西部小大震火災対策用器具格納庫	所在地	神ノ郷町壱町田10
施設コード	179	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	市有地 (蒲郡西部小学校敷地内に立地)	建設年	昭和58年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している西部地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後35年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後35年以上のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	塩津小大震火災対策用器具格納庫	所在地	竹谷町今御堂15-4
施設コード	177	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	市有地 (塩津小学校敷地内に立地)	建設年	昭和57年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している塩津地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後35年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後35年以上のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	前田公園大震火災対策用器具格納庫	所在地	拾石町前田31
施設コード	191	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	市有地 (前田公園敷地内に立地)	建設年	平成5年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している塩津地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後25年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後25年以上のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	形原小大震火災対策用器具格納庫	所在地	形原町会下13-1
施設コード	173	施設面積	7.29㎡
土地所有状況	市有地 (形原小学校敷地内に立地)	建設年	昭和55年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している形原地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後35年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後35年以上のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	形原4区大震火災対策用器具格納庫	所在地	形原町北上松22
施設コード	196	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	市有地：6.75㎡	建設年	平成11年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している形原地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後20年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後20年以上のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	形原中大震火災対策用器具格納庫	所在地	形原町佃14-2
施設コード	185	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	市有地 (形原中学校敷地内に立地)	建設年	平成2年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している形原地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後35年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後30年以上のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	形原北小大震火災対策用器具格納庫	所在地	金平町三本木1-1
施設コード	182	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	市有地 (形原北小学校敷地内に立地)	建設年	昭和60年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している形原地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後30年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後30年以上のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	消防本部総務課
------	---------

1. 施設の概要

施設名称	西浦小大震火災対策用器具格納庫	所在地	西浦町宮新田30
施設コード	174	施設面積	6.75㎡
土地所有状況	市有地 (西浦小学校敷地内に立地)	建設年	昭和56年
構造・階数	コンクリートブロック造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
防災資機材を配備している西浦地区の防災拠点であり、廃止することは困難な施設である。建築後35年が経過しており、内外装に一部劣化がみられるが、今後も長期にわたって適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
防災施設であり、施設自体を廃止することは困難。かつ、収用物が多くあるため、現在の施設を維持していく。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建築後35年以上のため、適切に管理を続けていく。
【中・長期的課題】
配備する物品が変わった場合、増築、改築が必要な可能性もある。

消防・防災施設

4. 維持・管理実施方針

今後も保守を適切に行い、長期で利用していく。使用目標は80年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				